

< J Aバンク中央アカデミー >

全国研修のご案内 (No.1580)

事業性資金研修

～事業性資金（賃貸住宅資金・マル保融資）にかかる基礎知識・ノウハウを学ぶ講座～

賃貸住宅資金やマル保融資に関する基礎知識、ノウハウ等の習得を目指す方のご受講をお奨めします。

○ 日 程

2023年11月21日(火) 9:20 ～ 22日(水) 12:10

○ 受講方法

ウェブ会議システム「Webex Meetings」によるオンライン研修

○ オンライン研修に関する留意事項

- ① 農林中央金庫が配付した iPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex Meetings」が安定して利用できる機器(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信環境の良い会場をご準備ください。
- ② ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承のうえ、お申込みください。

○ 研修のねらい（こんな時）

賃貸住宅資金は金額が大きい長期の事業資金であることから、JAの収益源となる一方、新たな貸倒れが発生した場合はJA収支にとって大きなマイナスとなります。このため、貸出審査、期中管理および経営相談等については、組織的・体系的に取り組むことが重要となります。

本研修では、賃貸住宅資金にかかる審査方法の講義や架空事例を用いた個人ワークを通じて、賃貸住宅資金の審査にかかる実践能力の向上をねらいとしています。

加えて、事業性資金に関しては、他金融機関においても積極的な活用がなされているマル保融資（信用保証協会保証付融資）の活用も選択肢となります。同協会は、コロナ禍による売上減少等の影響を受けた事業者に対する保証の枠組みも設けており、金融機関は本枠組みを活用した事業者の資金繰り支援も求められております。

本研修では、マル保融資の基礎知識や取組事例等の講義を通じて、マル保融資に対する理解深化・対応力向上をねらいとしています。

○ 想定する受講対象者

県域の指導・相談部署等、賃貸住宅資金、マル保融資に関するJA等指導を担当する貸出担当部署および審査担当部署の新任職員。

○ 研修の骨格（考え方）

賃貸住宅資金に関しては、初めに、農林中央金庫から、①賃貸住宅資金にかかる全国情勢等につき説明を行い、続いて、②賃貸住宅資金にかかる審査のポイント、③賃貸住宅資金検討表の活用方法について説明を行います。

その後は、田代講師から、④賃貸住宅資金にかかる審査事例の紹介、⑤架空事例を用いた個人ワーク等の研修を行います。

マル保融資に関しては、初めに、①マル保融資の基礎知識について説明を行い、続いて、②マル保融資の取組事例について説明を行います。

○ 関係者の声

（農林中央金庫 JAバンクリテール実践部から）

相続税対策として土地所有者の一定のニーズがあり、金融機関としても融資残高を大きく積み上げられる賃貸住宅資金ですが、人口減少が進む日本においては、より慎重な審査が求められます。一部金融機関による問題融資の事例も踏まえながら、審査のポイント等について解説いたします。また、架空事例を用いた審査のトレーニングも実施いたします。

○ 申込期限

10月13日（金）までに所定の方法でお申込みください。

以上